

# でわだより

平成24年5月1日 発行  
出羽保育園  
〒990-2172  
山形市大字千手堂字沢田 203-5  
TEL 684-3018  
FAX 984-3072

大雪ときびしい寒波のつらい冬からようやく開放され、山形も桜の季節を迎えました。例年より遅い開花ですが、こんなにも春を待ち望んだことはなかったように思います。

新しい年度が始まり早1ヵ月。暖かくやさしい光をあびて遊ぶ子どもたちの姿にうれしさを感じます。5月は大型連休もあり、生活リズムが乱れやすくなります。日中の暖かさとは裏腹に、朝晩は寒さが残っていますので体調に留意して下さい。



## 5月の行事

- |                                    |                               |
|------------------------------------|-------------------------------|
| 3日(木) 憲法記念日                        | 24日(木) 歯科健診(9時～)              |
| 4日(金) みどりの日                        | 25日(金) 誕生会                    |
| 5日(土) こどもの日                        | 30日(水) ぎょう虫卵検査①               |
| 11日(金) ハ歯の日                        | 31日(木) ぎょう虫卵検査②               |
| 17日(木) モンテディオサッカー教室<br>(もも組・うめ組対象) | (6月1日(金) 尿検査・回収日)<br>その他 避難訓練 |
| 21日(月) かもしかクラブ                     | ※後日詳細をお知らせいたします。              |



### 何度もお願ひして恐縮ですが、子どもたちの安全のために御協力下さい

送迎時、玄関前や駐車場でお母さんたちが立ち話している姿を見かけます。子どもから目が離れ、危険なことがありましたので、すみやかに送迎して下さいようお願いしております。先日の保育参観後も、お父さんが「危ない!」と叫ばれたことがありました。お母さん同士のお話は決して悪いことではありませんが、子どもたちに事故があってはなりません。お母さんたちの茶話会は「ママメイト」で行っておりますので、ご利用ください。

子どもたちにも手をつないで車に乗るよう約束していますのでご協力よろしく申し上げます。

## みんな、なかよしわんぱくランド

少子化で縦のつながりの中で遊ぶ経験が減っており、人と関わる力が弱くなっています。今年度はうめ、もも、さくらんぼ組を4グループに分け、縦割りの活動を保育の中に位置づけしています。

テーマは「自然」。地域性を生かし、自然と友だちとのつながりを深めます。4月はジャガイモ植えと園外散歩を行いました。うめ組のしっかりしたリードに頼もしさを感じました。

次回は5月10日です。



やさしい ひかり

さわやかな かぜ

子どもたちは・・・



いちごぐみ

泣き声も優しくなり、担当保育士には笑顔も見せるようになりました。保育者との信頼関係を築く第1歩であり、私たちも手ごたえをつかみ、より一層がんばろうと思う瞬間です。生まれて1歳に満たない子をお預け下さるお父さん、お母さんの心に寄り添い大切に大切に保育していきます。

新園児は朝から元気に泣き、自分の気持ちを整理。進級時も新しい環境、新しい仲間を敏感に感じ取り、泣いて自分をアピール。4月、一番泣き声が響いたクラスです。

少しずつ周りが見え始め、音楽がなると身体でのってくるようになりました。一人ひとりのリズムを大切に保育にあたります。

すみれぐみ

たんぽぽぐみ

保育室が大きく移動し、見るものすべてに興味津々。何でも触りたい子どもたちですが、毎日の保育の中でルールがあることを繰り返し伝えていきます。子ども同士で名前を呼びあったり、「かして」「いいよ」などの言葉も少しずつ聞かれるようになりました。子どもが発する言葉を大切にしています。

行動範囲がぐっと広がり、動きもしっかりしてきました。しかし、まだまだできないことも多く、自己主張が強い年齢です。また、ごっこ遊びが大好きでままごとやヒーローごっこで盛り上がっています。友だちとのぶつかり合いも多い年齢ですが、友だちと遊ぶことの楽しさを伝えていきたいと思います。

わりとびぐみ

ももぐみ

30人の大所帯。保育室も狭く感じるほどパワーがあり、挑戦する意欲が溢れている子どもたち。大好きな歌は難しい曲をもさらりとこなします。自分の気持ちが優先でしたが、友だちの存在も大きくなり、葛藤する姿も見られるようになりました。一人ひとりの気持ちを受けとめながら、友だちとの関わりも深めていけるよう、保育にあたります。

生活習慣も自立し、保育園生活最後の年度が始まりました。個々に持っている力を十分に発揮できるように援助し、またクラスとして、みんなで作り上げる喜びや達成感が得られる保育を目指します。もも組から取り組んできた『なわとび』は、一人ひとりが目標を持ち頑張ってきました。友達同士、教えあい励まし合う姿に成長を感じています。遊びの中にも子どもたちの気持ちや、自主性を大切に保育にあたります。

てのびぐみ